



学校だより

夢中がいっぱい左近山の子

～つながる学び（知）・つながる仲間（徳/体）・つながる地域・未来(公/開)～

令和5年8月28日

Sakonama
横浜市立左近山小学校
9月号

「非常時に備えて」

校長 徳留 勇

夏休み期間中、保護者の皆様におかれましては、「植物への水やりボランティア」にご協力いただき、誠にありがとうございました。また、地域の皆様には、児童の見守り、ラジオ体操、お祭り等、子どもたちが安全に楽しく過ごせるようご尽力いただき心より感謝申し上げます。特にお祭りは、4年ぶりに開催されたところも多く、各地区のお祭りの盛り上がりには圧倒させられました。食べ物やおもちゃを片手に、満面の笑顔でお祭りの雰囲気を楽しむ子どもたちに会い、大人になったら「ふるさと左近山」の懐かしき思い出としてお祭りの話をするのだろうと思わず想像してしまいました。

おかげさまで大きな事故もなく、無事に学校を再開させることができました。日焼けした顔で元気いっばいに夏休みの思い出を話す子どもたち。中にはもう少し夏休みが欲しいという表情の子もいましたが、それぞれの夏休みを満喫した子どもたちに再会することができ、本当にうれしく思います。引き続き、地域・保護者の皆様の温かいご支援とともに、教職員一同全力で左近山小学校を盛り上げてまいります。どうぞ、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、9月1日は「防災の日」です。今年は、関東大震災（1923年9月1日発生）から100年の年でもあります。幸いなことに、この100年間、横浜では関東大震災ほどの大きな地震は発生していません。でも、裏を返せば、いつ災害級の地震が発生してもおかしくないという状況だとも言えます。

左近山小学校では8月29日（火）に総合防災訓練を行います。今回は、震度7の大地震が発生し、負傷者の救護と放送設備が使用不能となったことを想定しての訓練です。

子どもたちには「お・か・し・も」（おさない・かけない・しゃべらない・もどらない）を意識して行動することを日頃より徹底しています。これは、自分の命を第一に、落ち着いて、安全に、指示を聞いて避難できるためのものです。もちろん地震はいつ起きるかわかりません。休み時間や教職員がいない場合を想定し、自分の身を守るために、子どもたちが自ら考え、判断し、避難する訓練も行っています。重要なのは、日頃より、意識を高くもち、準備をしておくことです。大切な命を守るため、今年度も真剣に避難訓練に取り組み、非常時に備えていきます。

避難訓練を行うと子どもたちの防災に対する意識が高まります。日々の忙しさから、なかなか防災について意識を向けることは難しいですが、ぜひご家庭でも子どもたちと防災について話題にし、万が一への備えについて見直してみてください。

【留守番電話設定】平日 17時15分から翌朝7時45分までは留守番電話を設定しています。